

2022 年 8 月 10 日
日本製薬団体連合会
会 長 眞 鍋 淳

第二次岸田改造内閣発足を受けて

第二次岸田内閣が発足いたしました。

新型コロナウイルス感染症の長期化、武力侵攻による国際情勢の緊迫化によって、わが国の経済・国民生活の見通しがさらに不透明になりつつあります。第二次岸田改造内閣はこれらの厳しい現況を乗り越え、将来のわが国の発展を期する陣容として私たち製薬産業は歓迎し、産業界の発展に資するさらなる改革の推進と国民生活の安定を両立する政権運営を期待しています。

私たち製薬産業もワクチン・感染症治療薬をはじめ、未だに有効な治療薬がない疾病領域において、最先端の科学技術とイノベーションの追求により革新的な新薬を開発し、高品質な医薬品を安定的に供給することで国民の健康と日本の社会と経済の発展に全力で貢献していく所存です。

製薬産業が社会への貢献を加速するためには、イノベーションの成果として生み出された新薬の適切な経済的評価が実現されることによって可能となる研究開発投資の促進が不可欠です。このことをわが国の社会保障制度の中においてどのように実現していくか、政官財を含む全てのステークホルダーがともに検討していかなければならない課題であると考えます。

新内閣に対しては、製薬産業に対する一層のご理解と官民一体となったわが国創薬力の強化・拡充にご尽力いただくことを切に期待いたします。

以上